

【徳】重点課題 思いやり・相手を尊重する心の育成

目 標…「周りの生徒が自分を認めてくれる生徒」

80%以上

※人間関係づくり活動を通して、生徒同士の人間関係の醸成に努める。

- 前年度の反省 昨年度は「周りの生徒が自分のよいところを認めてくれる生徒」80%以上を目標に取り組んだ。結果は、1年生82.2%、2年生81.7%、3年生89.2%とどの学年も目標の80%以上を達成した。学年が上がるにつれて、日常生活や学校行事等で生徒相互の関わりが充実している傾向はあるが、人と関わることを苦手とする生徒も見受けられる。諸活動への意欲や自信につなげるためには、多様な個性、互いのよさや違いを認め、協働的な学びに向かう人間関係の構築が必要なことから「周りの生徒が自分を認めてくれる生徒」80%以上に向けて継続的な取組が望まれる。
- 教科や道徳授業 教科や体験活動を通して、互いに認め高め合い、実践しようとする心情や態度を育てる。
- 特別活動等 生徒会活動を通して、自治と自立の力を育み、望ましい人間関係を形成し、よりよい学校生活づくりに参画しようとする態度を育てる。
- 生徒会活動 生徒会執行部が行事や集会、専門委員会等、学級・学年を越えた協働的な活動を推進し、集団や社会生活における望ましい態度の育成を図る。